

日本老年学的評価研究（JAGES：Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。
（JAGESの概要につきましてはホームページ https://www.jages.net/about_jages/ をご覧ください）

なお今回のプレス発表会につきましても前回と同様「Zoom」を用いてのweb開催とさせて頂き、当日の参加方法等に関しましては、お申し込み後に詳細をご案内いたします。
何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 2023年10月4日（水）12:00～13:00（予定）
2. 場所 「Zoom」（オンラインミーティングアプリ）を用いてのweb開催となります
3. 内容

- ① 386-23-18（細川陸也）
閉じこもりやフレイル等の老年期の症状は健康寿命に影響する
～症状の有無で、最大5年ほどの差～
- ② 387-23-19（細川陸也）
保険者努力支援制度の事業評価スコアが高いほど健康寿命が長い
～特定健診受診率・特定保健指導実施率・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率、重複・多剤投与者に対する取組、保険料収納率の向上、地域包括ケアの推進の事業評価スコアが高いほど健康寿命が長い～
- ③ 388-23-20（森優太）
望ましい地域環境に暮らすと、なぜフレイルになりにくい？
～歩行時間・うつ・助け合いによって約40%説明～
- ④ 389-23-21（小牧靖典）
独居高齢者の健康は、男女別婚姻状況別項目別に差がある。男性「未婚独居」の健康関連QOLスコアは「夫婦2人以上世帯」に比べて0.044点（1点満点）低い。
- ⑤ 390-23-22（小牧靖典）
男性1日約17分～24分、女性1日約13分～19分、歩行時間が増えると健康状態が一段階あがる

※下記⑥のプレスリリースは通常の研究発表とは異なりますが、今回の発表会にて併せて皆さまにご案内させていただきます。

こちらの資料は発表会当日までにご案内いたします。

- ⑥ 日本老年学的評価研究（JAGES）機構と世界保健機関（WHO）は、神戸市との協力のもと、共同プロジェクトを開始いたしました。

4. 発表者 (発表順)	代表 近藤 克則	一般社団法人日本老年学的評価研究 (JAGES) 機構	代表理事
		千葉大学 予防医学センター	教授
		国立長寿医療研究センター	
		老年学・社会科学研究センター	
		老年学・評価研究部	部長
	細川 陸也	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻	講師
	森 優太	千葉大学予防医学センター	客員研究員
	小牧 靖典	名古屋市立大学大学院 経済学研究科	博士後期課程

5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ（下記URL）の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】 https://www.jages.net/about_jages/press/participation/

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> press.ml@jages.net